



ようすいる はいすいる  
**用水路と排水路はどちらがうの**

みず ひ ようすいる  
**水を引くための用水路**

た はたけ ひ の みず しょうか つか みず ようすい  
 田や畑に引いたり、飲み水や消火に使ったりする水を用水といいます。また、そのためにためてある水を、用水といいます。

それぞれの家庭で使う水道水、たんぼの稲作に必要なかんがい用水、工場で使う工業用水、火事の際の消火活動に使うための消火用水など、いろいろな種類の用水があり、そのために大量の水が必要です。

これらの水は、遠くから引いてきたり、たくわえられたりして、じょじょに使われていきます。この水を引くための水路が用水路であり、たくわえておく池が用水池です。

みず なが す はいすいる  
**いらなくなった水を流して捨てる排水路**

すでに使った水やいらなくなった水を、流して捨てる水路を排水路といいます。たんぼや道路などの、いらなくなった水を流す排水溝、家庭で使った水や雨水を流す下水道、鉱山などでわき出した水を外に捨てる排水坑などの排水路があります。（監修・青木 国夫）

